

表③ 貸借対照表

(単位：千円)

項目	金額
固定資産	30,496,762
有形固定資産（下水道管、浄化センター建物・機器設備など）	30,495,106
無形固定資産（電話加入権）	1,656
流動資産	209,111
現金・預金	93,859
使用料の未収金	115,252
資産合計	30,705,873
固定負債	17,611,336
金融機関などからの借入金（1年以上後に償還するもの）	17,604,496
その他	6,840
流動負債	1,343,399
金融機関などからの借入金（1年以内に償還するもの）	1,195,878
支出義務のある経費のうち未払金	138,272
引当金	6,002
その他	3,247
繰延収益	10,251,604
資産の元手となった国庫補助金など	10,251,604
負債合計	29,206,339
資本金	1,150,640
剰余金	348,894
資本剰余金	340,627
利益剰余金	8,267
資本合計	1,499,534
負債資本合計	30,705,873

表④ 汚水処理原価と経費回収率の状況

(単位：円, %)

項目	登別市	道内平均(※)
汚水処理原価	196.61	143.00
経費回収率	90.80	120.76

※平成26年度決算における、道内の地方公営企業法適用20市の平均。

表① 下水道事業会計の損益計算書

(単位：千円)

項目	収益/費用	損益
営業収益	659,664	
利用者からの下水道使用料	600,064	
一般会計からの負担金	59,479	
その他	121	
営業費用	1,391,709	
給与支給のための経費	61,680	
施設管理のための経費	301,479	
減価償却費	988,015	
その他	40,535	
営業利益		▲ 732,045
営業外収益	1,115,301	
一般会計からの補助金	674,167	
長期前受金戻入	418,681	
その他	22,453	
営業外費用	375,789	
借入金に係る利息の支払	375,708	
その他	81	
経常利益		7,467
特別損失ほか	263	▲ 263
期間純利益		7,204

表② 資本的収支の決算状況

(単位：千円)

項目	金額
資本的収入	1,093,241
企業債	760,900
金融機関などからの借入金	760,900
負担金及び分担金	23,196
利用者からの負担金など	19,715
一般会計からの負担金	3,481
補助金	309,145
国からの補助金	163,529
一般会計からの補助金	145,616
資本的支出	1,636,059
建設改良費	471,018
下水道管整備のための経費	302,567
浄化センター整備のための経費	163,851
浄化槽整備のための経費	4,600
企業債償還金	1,165,041
借入金の返済	1,165,041
収支不足額	△ 542,818

経営の状況

貸借対照表は、ある時点で公営企業が保有するすべての資産、負債、資本を一覧として示し、企業の財政状態を明らかにしたものです。平成28年3月31日における下水道事業の貸借対照表は表③のとおりです。

また、下水道事業の経営状況を分析するための代表的な指標には、汚水処理原価と経費回収率があります。このうち、汚水処理原価は、汚水1立方メートルの処理にかかった金額を表し、低ければ低いほど、効率的な運営が行われていることとなります。

また、経費回収率は、汚水処理に用いた費用がどの程度使用料収入で賄われたかを表し、その比率が高ければ高いほど、健全な経営が行われていることとなります。

表④のとおり、登別市の汚水処理原価は道内他市に比べて高く、逆に経費回収率は低い傾向にあることから、今年度、市では、経営に関する計画を作成し、一層の効率化に向けて取り組みを進める予定です。

問い合わせ
下水道グループ
(☎859052)